

別記様式第1号

「安心！広島ブランド」トレーサビリティシステム認証申請書

令和 年 月 日

広島県知事様

住所  
氏名 印  
又は団体の所在地  
団体の名称  
代表者氏名 印

「安心！広島ブランド」認証要綱第4条の規定により、認証を申請します。

品目名		システム流通数量	
協議会等名称			
ホームページアドレス			

添付資料 トレーサビリティシステム事業計画書

## トレーサビリティシステム事業計画書

## 1 トレーサビリティ対象品目

対象品目名	品目の特徴	備考

## 2 推進体制（導入指針の3の（2）関係）

## （1）協議会等の名称等

協議会等名称	事業者（団体）名	所在地	職・氏名	電話番号
代表			（責任者）	
事務局			（担当者）	

注）規約等を添付すること。

## （2）協議会等構成員

区分	事業者（団体）名	所在地	責任者職・氏名	事業者（団体）の概要	電話番号
生産段階					
流通加工段階					
販売段階					
その他					

注1 事業者（団体）の概要欄には、主な取扱品目、資本金、年間生産（販売）額等を記述すること。

注2 その他欄は、消費者団体や学識経験者等の参加がある場合に記入すること。

(3) 協議会等年間開催計画

時 期	内 容	時 期	内 容

3 基本識別単位の設定及び管理

(1) 基本識別単位（導入指針の3の(3)関係）

基本識別単位	設定条件	設定理由

注 設定条件欄には、複数のロットが混合処理されるものについて、基本識別単位の設定にあたり不均一ロットとならないための手段等を記載する。

(2) 識別記号（コード構成及び伝達媒体等）

--

注 識別記号（ロット番号）のコード構成や、食品を識別する情報媒体（伝票、バーコード、ICタグ等）等について説明する。

(3) 識別単位毎の食品とその情報の紐付けの方法

--

注 区分管理されるべき食品のロットと、そのロットの持つ履歴情報を正しく対応させるための方法について説明する。

4 システムで管理する情報の項目及び保管期間（導入指針の3の（4）及び（5）関係）

区 分	生産段階		流通・加工段階	
	情報の内容	保管期間	情報の内容	保管期間
記録保管する情報				
上記のうち消費者に提供する情報				

5 システムの信頼性を確保するための措置（導入指針の3の（6）関係）

（1）自主点検及び相互確認計画

区 分	点 検 項 目
自主点検	
相互確認	

（2）その他の機関の確認、認証等計画

--

6 添付資料

- （1）システムフロー図（フードチェーン各段階における役割や情報入力の内容及び方法を図示すること。）
- （2）生産・販売計画（フードチェーンの流れに沿って、各段階における対象食品と同一種類の食品の全取扱量と、そのうちシステムによる取扱量を記載し、完全にトレースが可能となっている部分（システム流通数量）を示すこと。）
- （3）消費者に情報を提供するホームページの画面及び遷移図

別記様式第3号

「安心！広島ブランド」トレーサビリティシステム実績報告書（兼）事業計画届出書

令和 年 月 日

広島県知事様

住所  
氏名 印  
〔又は団体の所在地  
団体の名称  
代表者氏名 印〕

「安心！広島ブランド」認証要綱第9条の規定により、令和 年度の実績を報告します。

また、併せて「安心！広島ブランド」トレーサビリティシステム認証要領の12の規定により、令和 年度の事業計画を届け出ます。

品目名				
システム流通数量	令和 年度実績		令和 年度計画	
協議会等名称				
ホームページアドレス				

添付資料 令和 年度トレーサビリティシステム事業実績書

令和 年度トレーサビリティシステム事業計画書



## 令和 年度トレーサビリティシステム事業実績書

## 1 トレーサビリティ対象品目等

対象品目名	システム流通数量	備考

## 2 推進体制（導入指針の3の（2）関係）

## (1) 協議会等の名称等

協議会等名称	事業者（団体）名	所在地	職・氏名	電話番号
代表			（責任者）	
事務局			（担当者）	

## (2) 協議会等構成員

区分	事業者（団体）名	所在地	責任者職・氏名	事業者（団体）の概要	電話番号
生産段階					
流通加工段階					
販売段階					
その他					

注1 事業者（団体）の概要欄には、主な取扱品目、資本金、年間生産（販売）額等を記述すること。

注2 その他欄は、消費者団体や学識経験者等の参加がある場合に記入すること。

(3) 協議会等年間開催実績

期 日	内 容	期 日	内 容

3 システムの信頼性を確保するための措置（導入指針の3の（6）関係）

(1) 自主点検及び相互確認実績

区 分	点 検 項 目
自主点検	
相互確認	

(2) その他の機関の確認，認証等実績

--

4 添付資料

生産・販売実績

（フードチェーンの流れに沿って，各段階における対象食品と同一種類の食品の全取扱量と，そのうちシステムによる取扱量を記載し，完全にトレースが可能となっている部分（システム流通数量）を示すこと。）



令和 年度トレーサビリティシステム事業計画書

1 トレーサビリティ対象品目等

対象品目名	システム流通数量	備考

2 推進体制（導入指針の3の（2）関係）

（1）協議会等の名称等

協議会等名称	事業者（団体）名	所在地	職・氏名	電話番号
代表			（責任者）	
事務局			（担当者）	

（2）協議会等構成員

区分	事業者（団体）名	所在地	責任者職・氏名	事業者（団体）の概要	電話番号
生産段階					
流通加工段階					
販売段階					
その他					

注1 事業者（団体）の概要欄には、主な取扱品目、資本金、年間生産（販売）額等を記述すること。

注2 その他欄は、消費者団体や学識経験者等の参加がある場合に記入すること。

(3) 協議会等年間開催計画

期 日	内 容	期 日	内 容

3 システムの信頼性を確保するための措置（導入指針の3の（6）関係）

(1) 自主点検及び相互確認計画

区 分	点 検 項 目
自主点検	
相互確認	

(2) その他の機関の確認，認証等計画

--

4 添付資料

生産・販売計画

（フードチェーンの流れに沿って，各段階における対象食品と同一種類の食品の全取扱量と，そのうちシステムによる取扱量を記載し，完全にトレースが可能となっている部分（システム流通数量）を示すこと。）